

ネットワークカメラ ビデオデコーダー

モニタリングユニット

AiAir View

取扱説明書

Ver. 1.4.0



AIRUCA 株式会社

はじめに

この度は、AiAir View をご利用いただきまして誠にありがとうございます。本製品はネットワークカメラの映像を液晶モニターやテレビに表示させることができる、小型・軽量のネットワークカメラ用ビデオデコーダー、モニタリングユニットです。

免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ② お客様の誤使用や不注意による障害または本商品の破損などの不便・損害・被害
- ③ お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
- ④ 本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示などできないことで被る不便・損害・被害
- ⑤ 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥ 本装置で表示された映像が何らかの理由（不正アクセスを含む）により公となり、使用され、その結果生じた、被写体となった個人・団体などによるプライバシー侵害などを理由とする賠償請求、クレームなど
- ⑦ 登録した情報内容が何らかの原因（ユーザー名、パスワードなどの認証情報を忘れたことにより本商品を初期化する場合を含む）により、消失してしまうこと

ネットワークに関するお願い

本機はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。

- ① 本機を経由した情報の漏えいや流出
- ② 悪意を持った第三者による本機の不正操作
- ③ 悪意を持った第三者による本機の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

・ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。

・PC が接続されているシステムで本機を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。

・不正な攻撃から守り、登録されているカメラの IP アドレス、認証情報（ユーザー名、パスワード）等をネットワーク上に漏洩させないため、リモート接続する際にはパスワードを設定し、アクセスできるユーザーを制限する。

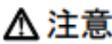
- ・リモートで本機にアクセスしたあとは、必ず本機への接続を切断する。
- ・パスワードは定期的に変更する。また、認証情報（ユーザー名、パスワード）を第三者の目に触れないよう、適切に保管する。
- ・本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しない。

著作権について

本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また、本製品に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

安全上の注意

本製品をお使いになる前に必ず読み、正しく安全にお使いください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

設置について

⚠ 警告

⊘	<ul style="list-style-type: none">・湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に設置しないでください。故障・火災・感電の原因となります。・水のかかる場所で使用しないでください。故障・火災・感電の原因となります。
---	---

⚠ 注意

⊘	<ul style="list-style-type: none">・周囲温度が0～40°Cの環境に設置してください。直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くなど、高温になる場所には設置しないでください。故障・火災の原因となります。・腐食性ガスが発生する地域や塩害地域では使用しないでください。故障の原因となります。
---	--

⚠ 注意

⊘	<ul style="list-style-type: none">・空気の吸排気口をふさがないでください。吸排気口は壁から10cm以上離してください。これらをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。・ケーブルおよび各種ケーブル類に足がひっかかる場所に設置しないでください。・本体装置を移動する場合は、必ず電源を切り、ケーブル類を外してください。
---	---

電源・電圧・接続について

⚠ 警告

⊘	<ul style="list-style-type: none">・表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。・濡れた手で電源プラグやACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。・電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源ケーブルを痛め、火災・感電の原因となります。
!	<ul style="list-style-type: none">・電源ケーブルや電源プラグが傷んだとき、コンセントの差し込み口にはこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。そのまま使用すると、火災の原因となります。・近くで雷が発生したときは、電源ケーブルやLANケーブルを抜いてください。そのまま使用すると、雷によっては装置が破損し、火災の原因となります。・万一、装置から煙、異臭がするなどの異常が発生した場合は、直ちに電源プラグ、ACアダプターをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

装置の取り扱いについて

⚠ 警告

⊘	<ul style="list-style-type: none">・装置やACアダプターを勝手に改造しないでください。火災・感電の原因となります。・装置本体のカバーや各種差し込み口についているカバーは、必要な場合を除いて取り外さないでください。故障・感電の原因となります。・ディスプレイに何も表示できないなど、故障状態で使用しないでください。修理の依頼は販売店にご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電のおそれがあります。・開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。故障・火災・感電のおそれがあります。・本体に水をかけないでください。故障・火災・感電の原因となります。・殺虫剤などを使って害虫駆除を行う場合には、装置を停止し、ビニールなどで保護してください。
---	---

⚠ 注意

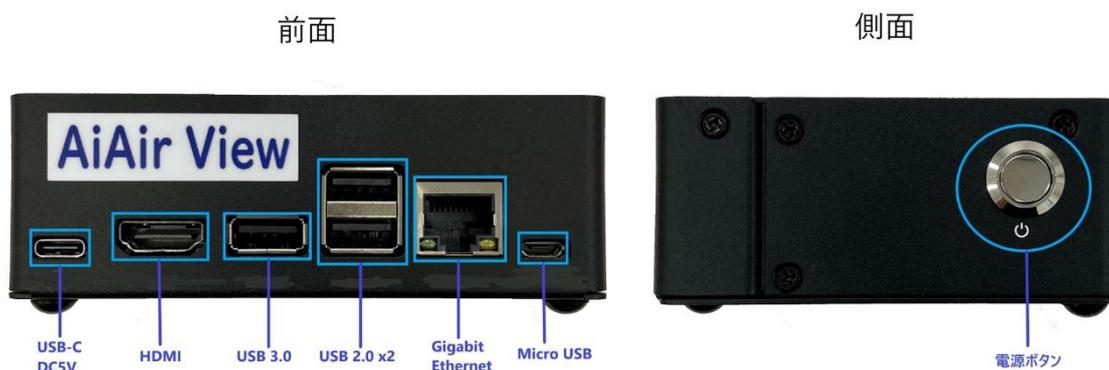
⊘	<ul style="list-style-type: none">・装置の開口部（通風孔など）をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。開口部や差し込み口に指などを入れしないでください。故障やけがの原因となります。
---	---

使用上のお願い

長時間安定した性能でお使いいただくために

- ・高温・多湿の場所で長時間使用しないでください。部品の劣化により寿命が短くなります。
- ・本機は発熱します。設置場所の放熱を良くし、暖房などの熱が直接当たらないようにしてください。
- ・本機は屋内専用です。屋外では使用しないでください。
- ・機器が濡れないようにご使用ください。また、水滴または水沫のかからない状態でご使用ください。

本体各部の名称



USB-C DC5V	専用の AC アダプターを接続し電源を供給します。
HDMI	HDMI 対応のモニターに接続するポートです。 ※HDMI を DVI や VGA に変換するコネクタは使用できません。 HDM 入力端子のあるモニターまたはテレビ等をご用意ください。
USB 3.0	USB 3.0 機器を接続するポートです。USB 2.0 と互換性があります。
USB 2.0 ×2	USB 2.0 機器を接続するポートです。キーボード、マウス等
Gigabit Ethernet	LAN ケーブルを接続するポートです。
Micro USB	Micro USB ポートです。(通常未使用)
電源ボタン	本体の電源を ON/OFF します。電源ボタンの動作は 2 モードあります (後述)

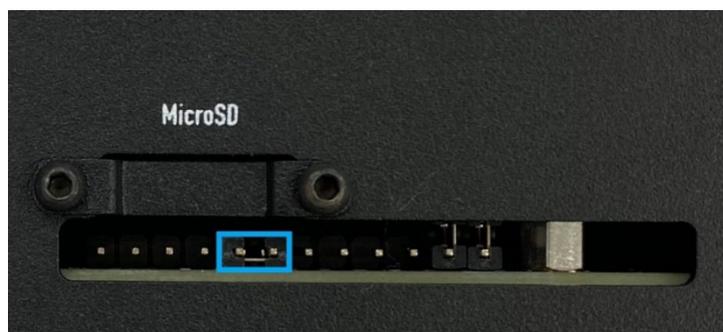
電源ボタン動作モード

電源ボタンの動作は下記の2モードあります。

標準モード (初期値)	電源ボタンを押すと電源 ON、もう一度押すと電源 OFF
自動起動モード	AC100V(DC5V)電源が投入されると自動的に起動します。電源ボタンを押すとシャットダウンします。電源ボタンを押しても起動しませんので、電源を ON するには再度、AC100V(DC5V)電源を投入する必要があります。

電源ボタン動作モードの変更方法

本体背面にあるジャンパーピンを抜くと自動起動モードとなり、差し込むと標準モードとなります。ジャンパーピンの抜き差しは必ず、本体の電源を OFF にし、電源コネクタを本体から外してから行ってください。また、ジャンパーピンの抜き差しはピンセットや小型マイナスドライバー等があると便利です。外したジャンパーピンは電源モードを標準モードに戻す際に必要ですので、紛失しない様に保管してください。



左から5番目と6番目のピンにささっているジャンパーピン

使用方法

電源スイッチを押すと本機が起動します。もう一度、電源ボタンを押すと本機が終了します。

電源ボタン動作モードが「自動起動モード」になっている場合は、電源ボタンを押しても起動せず、AC100V（DC5V）電源が投入されると自動的に起動します。電源ボタンを押すとシャットダウンします。電源を ON にするには再度、AC100V(DC5V)電源を投入する必要があります。

初期設定

初期設定を行うには本機に USB キーボード、マウスを接続する必要があります。（Onboard：On Screen Keyboard を搭載していますので、マウスだけでも設定は可能ですが、キーボードがある方が設定は容易です。）本機に液晶モニター、キーボード、マウス、AC アダプターを接続して電源ボタンを押します。

初期設定の流れ

- ① カメラの登録 — ネットワークカメラの IP アドレスやパスワード等を登録します。
- ② 表示画面の設定 — 分割画面に表示するカメラ番号や位置を設定します。
- ③ シーケンス表示の設定 — シーケンス表示で表示する分割画面を設定します。

上記の3つを完了して初めて映像を表示することができます。

※シーケンス表示を使用しない場合でも、最低1枚のシーケンス表示の登録が必要です。

下記 URL の YouTube 動画でも初期設定を解説しております。

https://www.youtube.com/watch?v=jKc0Q_p2exM

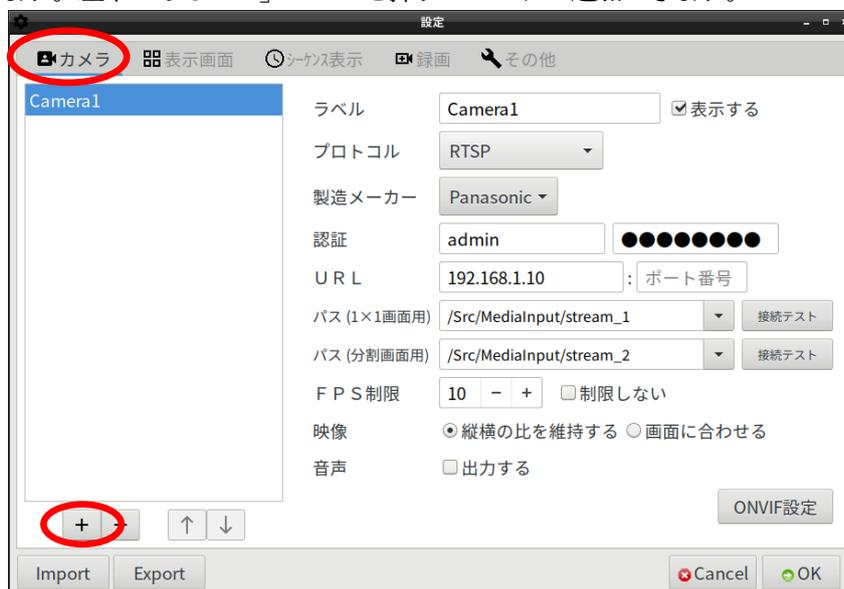


上部に表示されるメニューバー

メニューバーにある設定ボタンを押すと、設定画面が開きます。

① カメラの登録

本機を立ち上げると、自動的に画面が立ち上がります。上部にあるメニューバーの設定アイコンを押して設定画面を表示します。「カメラ」タブを選択（初期状態では選択されています）し、最初にカメラを登録します。左下にある「+」ボタンを押すとカメラが追加できます。



ラベル： 映像の上部に表示されるカメラタイトルです。任意の文字を登録できます。

「表示する」のチェックを外せば非表示にできます。

プロトコル： プロトコルを選択します。通常は rtsp を選択します。

サポート対象外ですが、古い Mjpeg 対応カメラ等は http で接続できることがあります。（接続パスが違うことが多いです）

※マルチキャストの設定方法について

本製品はマルチキャスト配信にも対応しております。

マルチキャストにて本機を使用する場合には、

プロトコルをマルチキャストに選択して下さい。

製造メーカー： カメラメーカーを選択します。

認証： カメラにアクセスするためのユーザー名とパスワードを入力します。

URL： カメラの IP アドレスを記入します。ドメイン名も記載できます。

ポート番号： ポート番号を入力します。rtsp の場合、通常は 554 です。

パス： カメラから映像を取得するためのパスを選択します。手動で記入することも可能です。

※パスの1段目には1×1画面用の高解像度のパスを設定します。

※パスの2段目には分割画面用の低・中解像度のパスを指定します。

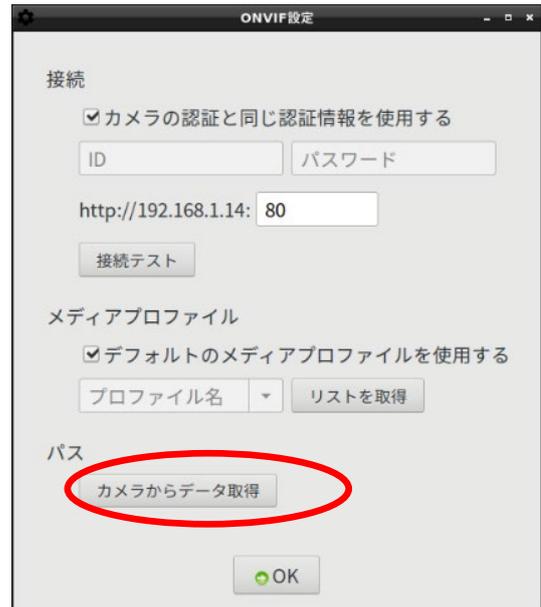
※カメラのパスが分からない時（対象：ONVIF対応カメラ）

ネットワークカメラのパスが、製造メーカーの一覧にないメーカーのために選択

できなかつたり、入力方法が分からなかつたりした時、ONVIF対応ネットワークカメラで

あれば自動取得することが可能です。

- ① カメラタブ画面右下の ONVIF 設定ボタンを選択
- ② 表示された画面下部の「カメラからデータ取得」を選択
- ③ OK を選択



接続テストボタン：カメラへ接続できるかをテストできます。

FPS 制限： 表示するカメラのフレームレートを制限します。

映像： 縦横比を維持して表示か、画面にフィットさせて拡大縮小するかを選択できます。

音声： 音声を出力する場合はチェックを入れます。

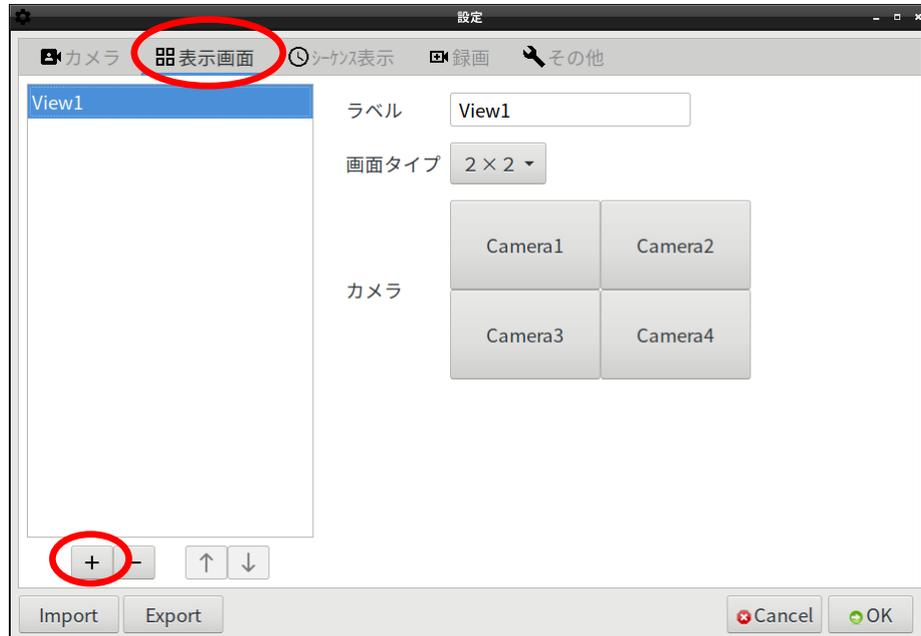
+ボタン： カメラを追加します。

-ボタン： カメラを削除します。

↑↓ボタン： カメラの登録順を入れ替えます。

② 表示画面の設定

「表示画面」タブを選択し、表示画面を設定します。左下にある「+」ボタンを押すと表示画面を追加できます。



ラベル： 表示画面に付ける名前です。任意の文字を登録できます。

画面タイプ：画面の分割タイプを選択します。

カメラ： 各分割コマ位置に表示するカメラを選択します。

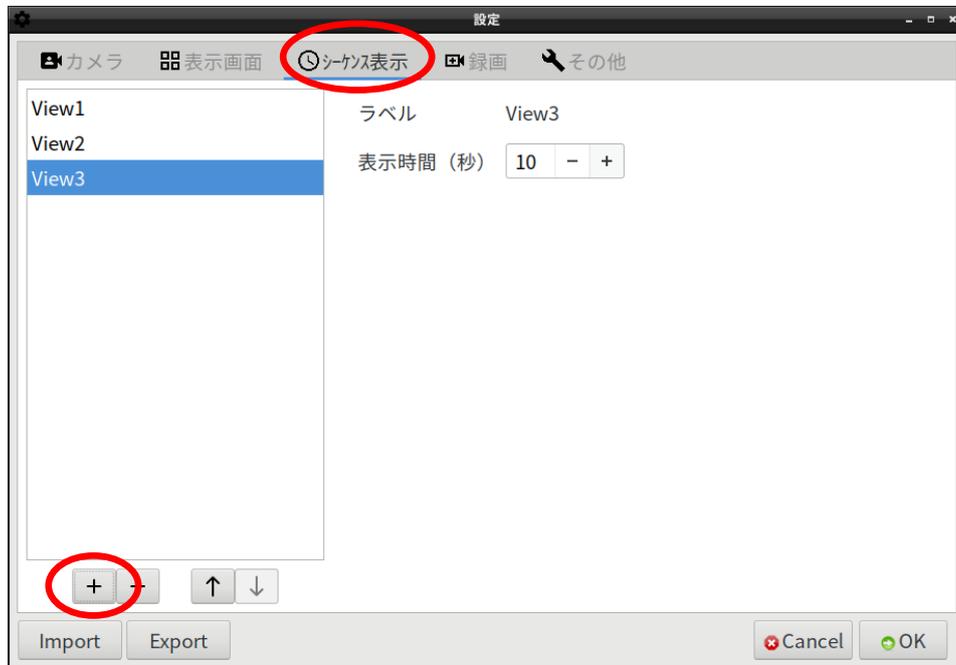
+ボタン： 表示画面を追加します。

-ボタン： 表示画面を削除します。

↑↓ボタン：表示画面の登録順を入れ替えます。

③ シーケンス表示の設定

「シーケンス表示」タブを選択し、シーケンス表示を設定します。左下にある「+」ボタンを押すとシーケンス表示を追加できます。シーケンス表示を行わない場合でも、シーケンス表示は最低でも1つ以上登録する必要があります。



ラベル： シーケンス表示に付ける名前です。任意の文字を登録できます。

表示時間 (秒)：表示する時間を秒で設定します。5秒から600秒の間で設定できます。

+ボタン： シーケンス表示を追加します。

-ボタン： シーケンス表示を削除します。

↑↓ボタン：シーケンス表示の登録順を入れ替えます。

※シーケンス表示を行わない場合でも、シーケンス表示は最低でも1つ以上登録してください。

④ その他の設定

「その他」タブを選択すると、各種設定を変更できます。



- ・全画面で起動する：起動時に全画面で表示します。
- ・起動時にシーケンス表示を自動で開始する：
起動後、すぐにシーケンス表示を開始します。
- ・ストリーム情報を表示する：
カメラの映像上にカメラから取得しているストリーム情報を表示します。
コーデック(h264、h265等)、画像サイズ(1280×720等)
フレームレート(10/30fps等)左側は画面に表示しているフレームレート(10fps)、
右側はカメラから取得しているストリームのフレームレート(30fps)です。
- ・画面切り替え前にカメラに接続する(秒前)；
シーケンス表示の切り替えをスムーズに表示させるために、画面が切り替わる前にバックグラウンドで接続をしています。何秒前に接続するかを指定します。(初期値は3秒)
- ・画面切り替え後、カメラに接続するまで待つ(秒)：
画面が切り替わったあともカメラに接続できない場合、接続がタイムアウトする秒数を指定します。(初期値は10秒)

- ・ CPU 高負荷時に自動的にカメラを切断する：

高負荷時にフリーズを避けるため、自動的に負荷の高いカメラとの接続を切断します。

CPU 使用率 (%) (初期値 95%) に設定された負荷以上の状態が、高負荷継続時間 (秒) (初期値 5 秒) 以上続くと、負荷の高いカメラとの接続を切断します。切断したカメラ映像の表示枠には「AUTOMATICALLY DISCONNECTED」と表示されます。

このメッセージが表示された場合、カメラのストリームの設定を変更してください。

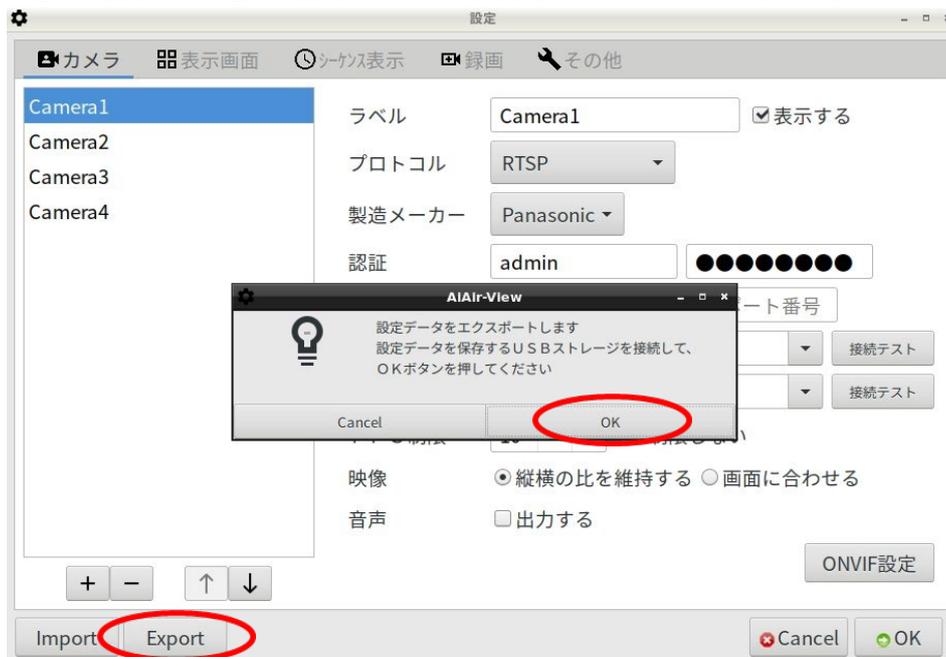
カメラ登録画面の URL パス 2 段目に例えばストリーム 2 (Sub Stream) を使う、ストリームの画像サイズを小さくする、フレームレートを下げる、ビットレートを小さくする、など。

- ・ 自動再起動を行う：毎日もしくは、日付と時刻を設定することで、本機の自動再起動を行います。
※インターネットに接続できない環境にて自動再起動を行う場合は、「カメラから日時を取得する」を選択してください。

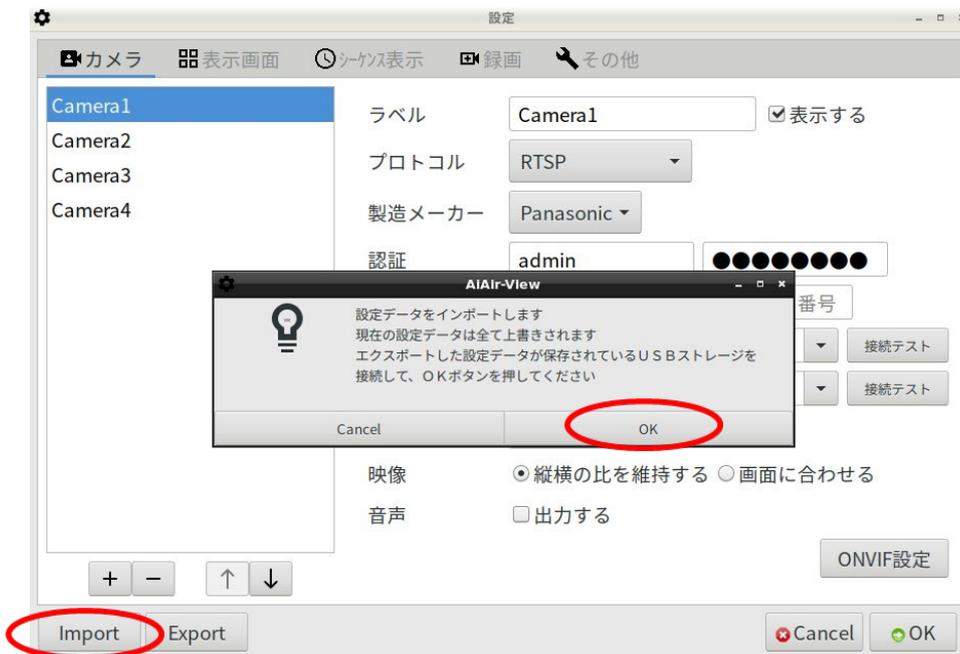
- ・ 「Export」、「Import」：

本製品を複数台同じ設定にて利用する場合に USB メモリー等を使用し設定を複製できます。

「Export」を選択し「OK」を選択することで、設定をエクスポートできます。



「Import」を選択し「OK」を選択することで、設定をインポートできます。



メニューバーの操作

全画面表示状態においてメニューバーを表示させるには、表示画面をダブルクリックします。



- シーケンス表示： シーケンス動作を停止・開始します。
- 録画： 録画機能を停止・開始します。
- サイドバー： サイドバーを表示します。表示する表示画面の選択や、PTZ 対応カメラの制御ができます。
- 全画面： 全画面で表示します。メニューバーは隠れます。
- 設定： 設定画面を開きます。
- About： 本機の情報が表示されます。最新情報への更新もできます。
- 終了： アプリケーションを終了して本機の電源を OFF にします。アプリケーションだけを終了することもできます。

About 画面

メニューバーの About ボタンを押すと、AiAir View についての画面が表示されます。



データ更新ボタンを押すと最新の情報に更新されます。現在更新できるものは下記の情報です。

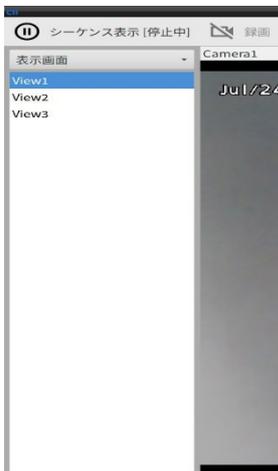
- ・カメラパスリスト



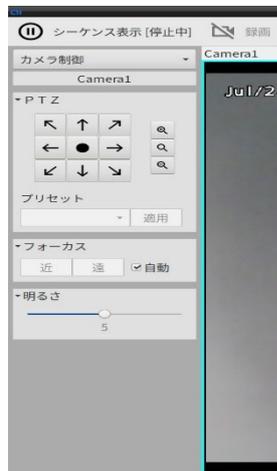
サイドバー

サイドバーには表示画面リストとカメラ制御 (PTZ コントローラー) を表示することができます。

表示画面リスト



カメラ制御 (PTZ コントローラー)



録画



カメラ制御は Onvif プロトコルを使用して行われますので、Onvif 対応カメラ以外の制御はできません。AXIS 社製全方位カメラの Dwarped View の設定を行っている場合はプロファイルの選択が必要です。

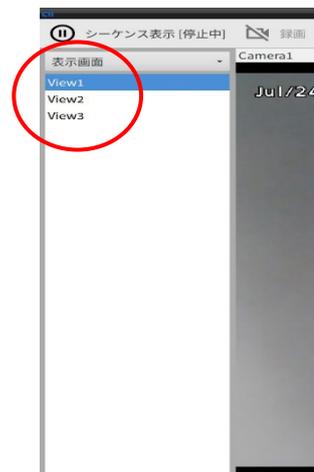
表示画面をダブルクリックすることで対象の単画面に切り替えることも可能です。

テンキーによる画面切り替え

映像を映している最中にテンキー1～9や0を選択すると、対応する画面が表示されます。手動で見たい表示画面がある時に便利です。

「テンキーの数字」に対して、「サイドバー」および「シーケンス表示(設定内タブ)」の並び順が対応しております。なお、0は10番目として扱われます。

※ 右図を例に挙げると、1を押下することでView1が、2を押下することでView2が、3を押下することでView3が表示されます。



録画機能

本製品は外付け HDD を USB ポートに挿すことで録画することが可能です。

- ※1 推奨 HDD は AC アダプター付きの HDD です。
- ※2 カメラは最大 4 台、解像度 640×360 (または 640x480)、フレームレート 5fps、ビットレート 512kbps 程度のスペックでの録画を推奨しています。
- ※3 本製品の録画機能は補助機能であり、本格的な録画には向いていません。本格的な録画は専用のレコーダー等をご利用ください。

・設定方法：

- ① 設定画面の録画タブを選択します。
- ② + ボタンを押下し、録画したいカメラを登録します。
- ③ パス、ファイル切り替え時間 (10 分推奨)、サイズ (未入力の場合カメラの設定値)、FPS、音声保存の有無を入力します。
- ④ OK を選択します。
- ⑤ 画面上部の「録画[停止中]」を押下することで録画が開始されます。

※サイズおよび FPS の設定値は、「カメラ本体の設定値>カメラタブの設定値>録画タブの設定値」の優先度で適用されます。



録画データの取り出し方法：

サイドバーを選択後、「表示画面」を押下し、「録画」を選択します。

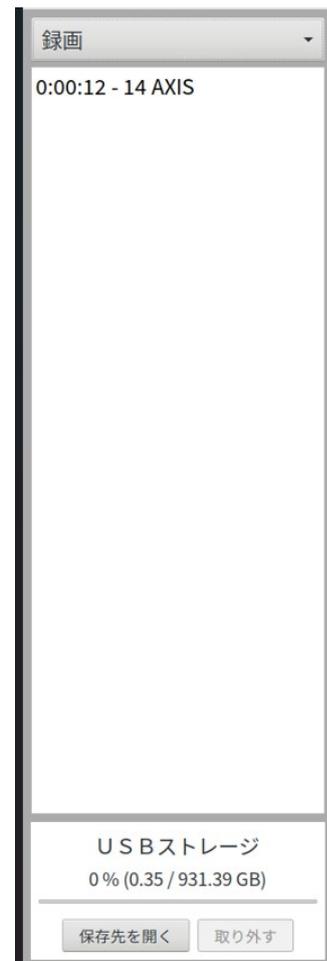


対象の録画カメラを選択します。

「取り外す」を選択することでHDDを安全に取り外すことができます。

HDDを取り外すときは必ず事前に「取り外す」実行してください。

また、「保存先を開く」を選択することで録画データが保存されているフォルダを開くことができます。



本機の IP アドレスの設定

本機の IP アドレスは初期状態では DHCP による自動取得となっています。固定 IP アドレスを割り当てる方法を説明します。

AiAir View を終了



全画面表示状態で画面をダブルクリックすると、上部にメニューバーが表示されます。

右側にある終了ボタンを押して AiAir View を終了します。終了確認画面が表示されますので、「PC の電源を OFF にする」のチェックは外して、アプリケーションのみを終了してください。

デスクトップ上にネットワーク接続アイコンがありますので、それを開きます。（ダブルクリックまたは右クリックから開く）



ネットワーク接続画面が開きますので

Ethernet - 有線接続 1 をダブルクリックします。



有線接続 1 の編集画面において、

「IPv4 設定」を選択します。

方式：「手動」を選択します。

「追加」ボタンを押します。

追加したアドレス欄にアドレス、ネットマスク、ゲートウェイを登録します。必要があれば DNS サーバーも登録します（通常はゲートウェイと同じ場合が多いですが、詳細はネットワーク管理者にお問い合わせください。）

最後に保存ボタンを押してください。



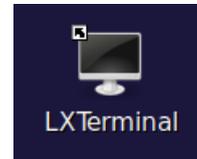
VNC リモート接続の設定

本機は VNC を利用してリモートから接続できます。

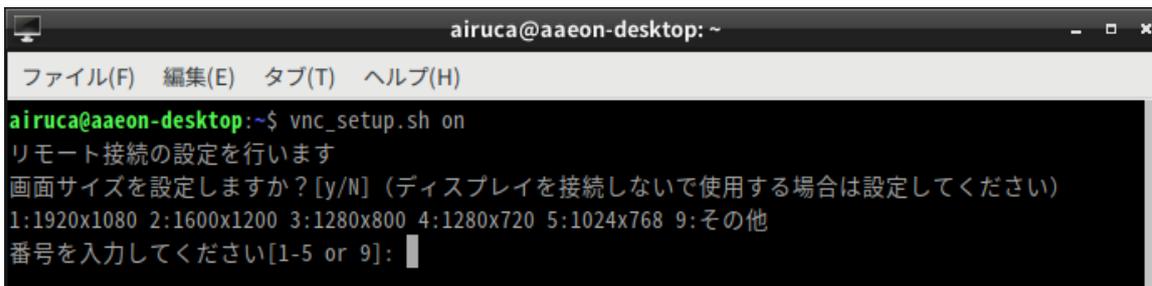
VNC 機能は初期状態では OFF になっていますので、ON にする必要があります。

VNC 機能を ON にする方法

AiAir View アプリケーションを終了し、デスクトップ上にある「LXTerminal」を起動します。



LXTerminal 画面に `vnc_setup.sh on` と入力してエンターキーを押します。

A screenshot of the LXTerminal terminal window. The title bar shows "airuca@aaeon-desktop: ~". The menu bar includes "ファイル(F)", "編集(E)", "タブ(T)", and "ヘルプ(H)". The terminal content shows the command `vnc_setup.sh on` being executed. The output includes: "リモート接続の設定を行います", "画面サイズを設定しますか? [y/N] (ディスプレイを接続しないで使用する場合は設定してください)", a list of screen sizes (1:1920x1080, 2:1600x1200, 3:1280x800, 4:1280x720, 5:1024x768, 9:その他), and a prompt "番号を入力してください[1-5 or 9]:".

```
airuca@aaeon-desktop: ~  
ファイル(F) 編集(E)  タブ(T)  ヘルプ(H)  
airuca@aaeon-desktop:~$ vnc_setup.sh on  
リモート接続の設定を行います  
画面サイズを設定しますか? [y/N] (ディスプレイを接続しないで使用する場合は設定してください)  
1:1920x1080 2:1600x1200 3:1280x800 4:1280x720 5:1024x768 9:その他  
番号を入力してください[1-5 or 9]:
```

画面サイズ設定は、ディスプレイを接続せずに使用する環境用の機能です。

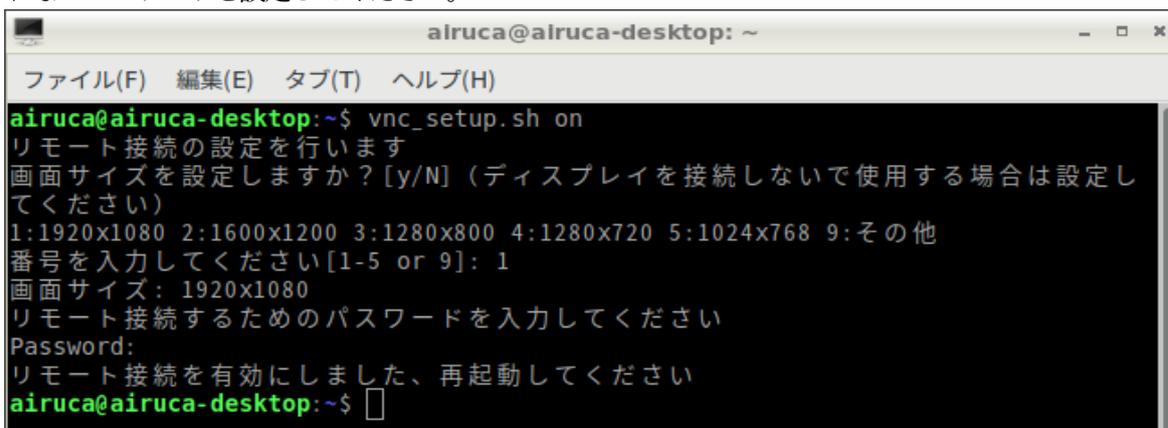
常にディスプレイを接続して使用する場合は、設定しなくても問題ございません。

画面サイズ設定して、且つディスプレイを接続して使用する場合は、

そのディスプレイが対応している画面サイズを設定してください。

対応していない画面サイズを設定した場合、ディスプレイ上でマウスを動かしてもうまくクリックできないことがありますので、VNC でリモート接続して、画面サイズを設定し直してください。

パスワードを聞いてくるので、VNC にログインするためのパスワードを設定します。容易に推測されないパスワードを設定してください。

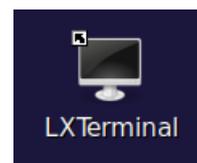
A screenshot of the LXTerminal terminal window. The title bar shows "airuca@airuca-desktop: ~". The menu bar includes "ファイル(F)", "編集(E)", "タブ(T)", and "ヘルプ(H)". The terminal content shows the command `vnc_setup.sh on` being executed. The output includes: "リモート接続の設定を行います", "画面サイズを設定しますか? [y/N] (ディスプレイを接続しないで使用する場合は設定してください)", a list of screen sizes (1:1920x1080, 2:1600x1200, 3:1280x800, 4:1280x720, 5:1024x768, 9:その他), a prompt "番号を入力してください[1-5 or 9]:", the user input "1", "画面サイズ: 1920x1080", "リモート接続するためのパスワードを入力してください", "Password:", "リモート接続を有効にしました、再起動してください", and the prompt "airuca@airuca-desktop:~\$".

```
airuca@airuca-desktop: ~  
ファイル(F) 編集(E)  タブ(T)  ヘルプ(H)  
airuca@airuca-desktop:~$ vnc_setup.sh on  
リモート接続の設定を行います  
画面サイズを設定しますか? [y/N] (ディスプレイを接続しないで使用する場合は設定してください)  
1:1920x1080 2:1600x1200 3:1280x800 4:1280x720 5:1024x768 9:その他  
番号を入力してください[1-5 or 9]: 1  
画面サイズ: 1920x1080  
リモート接続するためのパスワードを入力してください  
Password:  
リモート接続を有効にしました、再起動してください  
airuca@airuca-desktop:~$
```

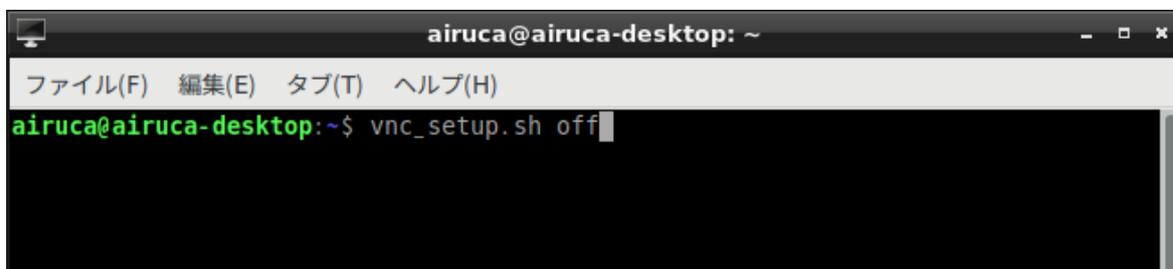
VNC リモート接続が有効になり、パスワードも設定されました。本機を再起動してください。再起動後に VNC が有効となります。

VNC 機能を OFF にする方法

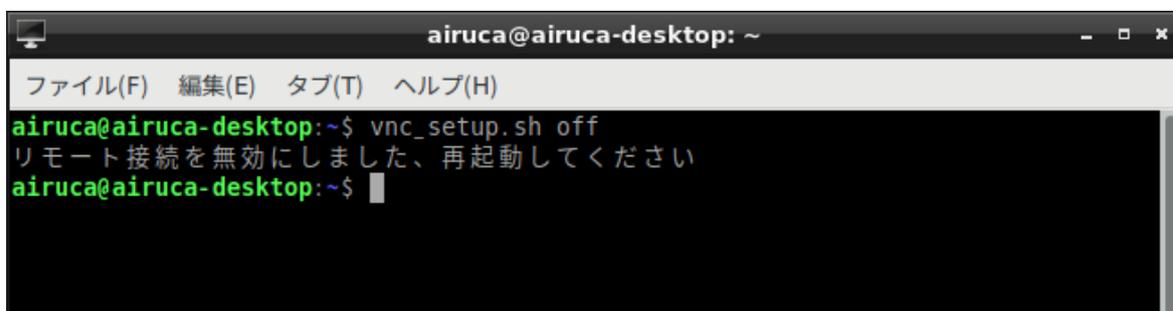
AiAir View アプリケーションを終了し、デスクトップ上にある「LXTerminal」を起動します。



LXTerminal 画面に `vnc_setup.sh off` と入力してエンターキーを押します。



VNC リモート接続が OFF になります。本機を再起動してください。



VNC ビューアーの入手先

外部から VNC によるリモートアクセスを行うには、パソコン側に VNC Viewer をインストールする必要があります。詳しくは VNC のサイトをご覧ください。

Real VNC : <https://realvnc.com>

VNC ビューアーのダウンロードサイト : <https://www.realvnc.com/en/connect/download/viewer/>

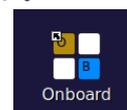
Onboard : オンスクリーンキーボード

本機にはオンスクリーンキーボードが搭載されています。これを使用するとマウスを使って文字を入力することができます。

起動方法

AiAir View アプリケーションを終了し、デスクトップ上にある「Onboard」を起動します。

画面下部にオンスクリーンキーボードが表示されます。



日本語入力方法について

画面右下のキーボードのアイコンをクリックすることで日本語にて入力できます。



AXIS 社製パノラマカメラの Dewarped View の選択

AXIS 社製パノラマカメラには Dewarped View（全方位画像を展開した映像）を設定・表示する機能があります。Dewarped View を設定した映像を表示させるには、カメラ登録時の URL のパスに例えば Double Panorama 「camera=3」等のカメラ番号（ストリーム番号）を追加で記載します。

パスの記載例

axis-media/media.amp?camera=3&fps=10

camera=1: Overview camera=2: Panorama camera=3: Double Panorama
camera=4: Quad etc...

カメラ側に設定した Dewarped View の番号はブラウザで直接カメラのライブ画像を表示した際に画面左下で確認できます。

カメラ制御 (PTZ コントロール) を行う場合

Dewarped View を設定したカメラの PTZ 制御を行うためにはカメラ登録画面の ONVIF 設定を行う必要があります。認証にある「接続テスト」ボタンを押して接続テストが成功したら、メディアプロファイルリストが選択できる様になるので、適切なプロファイルを選択してください。プロファイル番号は Dewarped View 番号から 1 を引いた数値となります。



例) 3 : Double Panorama を選択した場合、profile_2_h264 を
4 : Quad を選択した場合、profile_3_h264 を選択します。

【開発元】

AIRUCA 株式会社

東京都千代田区内神田 1-12-12 美土代ビル 3F

<https://airuca.com>

E-mail: info@airuca.com